

ATLIA

Kawaguchi Art Gallery

川口市立アートギャラリー・アトリア

年報 Annual Report

令和5(2023)年度 事業年報

2023.4-2024.3

目次

基本理念	p.2-p.3
沿革	p.4
令和5年度 事業一覧	p.5
企画展	p.6-p.11
講座・ワークショップ	p.12-p.22
地域・学校連携（共催）事業	p.23-p.24
アトリア・サポートスタッフ	p.25
研修・実習	p.26
貸しギャラリー事業	p.27
令和5年度事業件数・利用者数一覧	p.28-p.29
発行物	p.30-p.31
利用案内／スタッフ	p.32

基本理念

アトリアがめざすこと

川口市立アートギャラリー・アトリアは平成18（2006）年4月にオープンしたアート施設です。令和5（2023）年4月1日より株式会社21世紀文化芸術研究室グループが川口市から指定管理を受け、管理・運営業務を担っています。

川口は、古くは日光御成街道の宿場町として栄え、また鋳物や植木など数百年と続く産業と芸術文化が密接に繋がってきました。時代は流れ、東京のベッドタウン、暮らしやすい街として現在でも人口が増え続けていますが、文化面においても、JR川口駅の西口公園内に、日本を代表する彫刻家たちの作品が点在しているのは全国的にも珍しく、芸術文化の誇れる環境が築かれてきた有数のまちであるということが伺えます。

私たちは、ものづくりの町・川口に脈々と受け継がれてきた地域の芸術文化、東京近郊という地の利を背景として集まった芸術家たちを、見直し、評価し、市民の皆さまにお伝えしていく使命を持って活動していきます。

アトリアの活動には4つの柱があります。

企画展

地域ゆかりの作家・作品を中心に、再評価、価値を顕彰し、誰もが楽しめる展覧会を開催します。

美術講座・ワークショップ

子どもから大人まで楽しめる鑑賞講座・実技講座等を開催します。

地域連携

川口市教育委員会、周辺施設、市内の学校、民間企業等各種団体と連携します。

貸しギャラリー・貸しスペース

アート活動を行う個人、団体にギャラリーを貸し出し、展覧会やコンサート、各種イベントの開催の利用を提供します。

これら4つの柱をゆるやかに結びながら、広く市民に開かれたアートの拠点となるようにつとめます。

基本理念

事業目的

川口市アートの学び、100年の計の拠点のための3つの視点からアプローチ

- ①生きる喜びを感じられる、市民と親和性、協働性、継続性のある地域に根ざしたアート事業の確立
- ②アートを通じて多様な価値観を共有する場の確立
- ③市民とともに成長、発展できるアート施設の確立

運営コンセプト

事業目的を達成していくための3つの運営コンセプト

- ①地域の文化を継承・創造する拠点
- ②アートを通じた学びの場、交流の場を醸成
- ③市民サービスの充実と情報発信

施設とその成り立ち

1925（大正14）年の創業以来、約80年にわたり市民に親しまれてきたサッポロビール埼玉工場が2003（平成15）年に閉鎖されました。

この工場跡地にリボンシティが生まれ、「まち歩きが楽しい新しい都市空間の実現」を開発方針として、大型ショッピングセンターや住宅街区のほか、アートパーク（並木元町公園）などが建設されました。

緑の木々や芝生などを有するこの公園内にサッポロビール株式会社から建物の寄贈を受け、川口市立アートギャラリー・アトリアが誕生しました。ひろく張り出したウッドデッキを持つ、集成材を利用した木構造の平屋づくり（一部2階建て）の施設は、人とアートが自然のひろがりのなかでふれあうよう設計されました。

サッポロビール工場の土台を支えた松杭がギャラリーの床材として再利用されています。

名前の由来

「アトリア」とは、アート、アトリエ、リリア（※）に由来する造語であり、施設がアート活動を通じた市民の憩いの場となるようにとの願いが込められたものです。

2005（平成17）年8月に名称を募集し、全国46都道府県から寄せられた1649通（市内からは799通）の応募のなかから厳正な審査の結果「アトリア」が愛称として採用されました。

※川口総合文化センターの名称「リリア」を指します。



令和5年度 事業一覧

■ = 企画展 ■ = 地域・学校連携事業 ● = 講座・ワークショップ

月	事業内容	貸しギャラリー	
4月	■ 広場とつながる彫刻展 太田隆幸展(4月29日～5月12日)		
	● みんなで大きな絵を描こう！(4月22日)		
	● 広場とつながる彫刻展 関連ワークショップ 「びかびかめたる」「ゆるるこいのぼり」(4月30日、5月6日)		
5月	● ATLIA ART SCHOOL キャンパスにアクリル画を描く(技法・テクスチャーを学ぶ) (5月19日、5月20日)	展示室A	瀧山正夫展(5月16日～5月21日)
		展示室A	花とアートの展覧会 10th anniversary(5月24日～5月28日)
		スタジオ	上青木公民館陶芸クラブ30周年記念陶芸展(5月27日～5月28日)
6月	● 映画上映「手でふれてみる世界」鑑賞会+監督アフタートーク 手でふれてみる彫刻ワークショップ(6月17日)		
	■ 第18回 川口市美術家協会選抜展(6月21日～7月2日)		
7月	■ アートのツール・マテリアル展(7月29日～8月16日)	展示室A	スクランブル交差点 Vol.2(7月15日～7月16日)
	● コラージュでつくる森の動物王国(7月30日、8月3日、8月10日)		
	■ 川口市小・中・高校硬筆展(7月5日～7月9日)		
8月	■ 人とデザインのはなし「性質の彫刻」展 by BRANCH(8月20日～9月2日)		
	● 人とデザインのはなし(9月2日)	スタジオ	ラッキーワイド造形の世界2023(9月26日～10月1日)
9月	● 美術講座「日本の伝統工芸と染色」(9月16日、9月23日)	展示室AB	緑と文化の創造展(9月27日～10月1日)
	● 写真史家に学ぶ！アート作品と撮影のコツ(9月17日)		
	■ 令和5年度(第31回)水道ポスターコンクール展示会(9月6日～9月10日)		
	● 美術講座「静物デッサン」(10月12日、10月14日)	全室	川口星野富弘花の詩画展(10月4日～10月8日)
10月		展示室A	第3回デジタルペインティング「夢」作品展(10月11日～10月15日)
		スタジオ	第34回川口市工芸展(中止)(10月11日～10月15日)
		展示室B	写真展 埼玉で暮らすクルド人(10月12日～10月15日)
		スタジオ	Catウールアート猫展&黄色い猫とらの写真展(10月17日～10月22日)
		展示室AB	川口市小学生図画コンクール入賞作品展(10月21日～10月22日)
11月	■ 川口市制施行90周年・旧田中家住宅100周年記念展覧会 盆栽 BONSAI -川口の盆栽と安行の四百年-(11月3日～11月26日)		
	● 盆栽体験講座「苔玉どろだんご作り」(11月14日)		
12月	● 透明水彩で「木々」を描く-水彩技法を学ぶ-(12月21日、12月22日)	スタジオ	幸並中学校創立70周年記念作品展(12月1日～12月3日)
	■ 第56回川口市特別支援学級合同作品展(12月6日～12月10日)	展示室A	創造アトリエおきな木作品展(12月2日～12月3日)
		展示室B	第18回小学生「身近な生き物」絵画コンクール(12月13日～12月17日)
1月	■ アートな年賀状展2024(1月7日～1月14日)		
	● 年賀状展関連ワークショップ「辰の冒険すごろく」(1月14日)		
	■ 川口の美術家たちのアートな毎日(1月17日～1月21日)		
	■ 中学生のART CLUB作品展(1月27日～2月4日)		
2月	■ 川口市小・中・高校生書きぞめ展覧会(2月8日～2月12日)		
	■ 川口の図工美術まなび展(2月17日～2月25日)		
3月	■ アトリアで、春(3月9日～3月24日)	全室	川口まちこうば芸術祭2024(3月28日～3月31日)

※2022年4月1日～2023年3月31日時点の事業を一覧にしています。表内のグレー部分は中止した事業です。

■ 企画展

広場とつながる彫刻展 太田隆幸展

会 期：4月29日(土)～5月12日(金)

観覧料：無料

概 要：

幾何学模様が特徴の鉄の作品を制作する彫刻家、太田隆幸の個展を開催。「パラレルワールド」をテーマに、スタジオに大小合わせて20点の作品を展示。

作品の一部であるマグネットのパーツは、鑑賞者も自由自在にとったり貼り付ける仕掛けをつくりました。「気軽に作品に触れること」で、アートへの心理的な壁を解消し、作品に向き合うきっかけを作りました。

また、晴れた日には、屋外にあるウッドデッキに作品を設置し、ウッドデッキから直接アトリアへ入れるようにし、公園にいる多くの親子を呼び込むことができました。



①



②



③



④

①②③展示風景 / ④ワークショップの様子

■ 企画展

アートのツール・マテリアル展

会 期：7月29日(土)～8月16日(水)

観覧料：無料

出品作家：

- ・ 奥村 拓郎（彫刻）
- ・ 高田 純嗣（鉄彫刻）
- ・ 須恵 朋子（日本画）
- ・ 中村 拓哉（陶芸）
- ・ 村山 之都（水彩画）
- ・ 森本 諒子（石彫刻）
- ・ 渡辺 依理（油絵画）

概 要：

日本画、水彩画、油画、彫刻（石彫刻、鉄彫刻）、陶芸、版画の作品と、それぞれの作家が愛用している道具と素材（技法）を紹介する展覧会。

「どんな素材から・どんな風に作られているのか」という視点から、作品に興味を持ってもらおうと試みました。

鑑賞者からは「使用する道具や、材料を展示で見られるのは学びが多かった」「ひとつの絵を描くのに色々な道具が使われているのを知ることができてよかった」などとコメントがありました。

作家の経歴と、使用している道具、その作品を同時に展示することで、鑑賞者が制作に至る過程を知り、奥深さに触れる機会となりました。



①展覧会チラシ表面 / ②③④⑤展示風景

■ 企画展

人とデザインのはなし「性質の彫刻」展

by BRANCH

会 期：8月20日(日)～9月2日(土)

観覧料：無料

出品者：BRANCH

概 要：

川口市出身のプロダクトデザイナー長崎綱雄が主宰するクリエイティブユニットBRANCHの、「性質の彫刻」シリーズ作品合計30点を展示。

ホースやスポンジ、シャープペンシルなど身近な製品を、用途や役割を持つ道具としてではなく、その「性質」を抽出した作品として紹介しました。

観賞者からは「視点が新しく、置き方次第でアートに見えるのがおもしろい」「製品に対して見方が変わる体験」など、新しい視点を楽しむ声がありました。

一般的な工業製品が、作家により性質が抽出されることで美しく整えられ、アートの体験となりました。



①



②



③



④



⑤

① 展示会チラシ表面 / ②③④⑤ 展示風景

企画展

川口市制施行90周年・旧田中家住宅100年記念展覧会 「盆栽 BONSAI—川口の盆栽と安行の四百年—」

会 期：11月3日(金)～11月26日(日)

観覧料：500円（旧田中家住宅と共通）

盆栽出品：

- ・ 飯村 靖史(盆栽 喜楽園)
- ・ 飯村 誠史(盆栽 喜楽園)
- ・ 深野 歩(萬園)
- ・ 赤沼 祐司(松芳園)
- ・ 豊田 桂樹(福樹園)

作品出品：

- ・ 青木 邦真
- ・ 岡林 里依
- ・ 高田 純嗣
- ・ 中根 航輔
- ・ 中村 拓哉

概要：

江戸時代から続く、川口の緑化産業の一つである盆栽の魅力と、川口の盆栽の歴史を紹介する展覧会。東洋の芸術としての盆栽を再評価し、安行の土地に脈々と息づく、盆栽師の経験や知恵による美しい「盆栽」と「匠の技」を、現代美術作品と盆栽のコラボレーション展示、解説パネルなどで紹介しました。

アートとしての盆栽にスポットを当て、次の世代へと継承すべき地域の文化・産業・歴史への認知を拡げる機会となりました。

本展は、日本ではおそらく2回目である「盆栽」と「現代美術」のコラボレーションの展示であり、盆栽界においても先駆的な取り組みとなりました。



①展覧会チラシ表面/②③④アトリア展示風景/⑤旧田中家住宅展示風景
撮影：島村美紀

■ 企画展

アートな年賀状展 2024

会 期：1月7日(日)～1月14日(日)

観覧料：無料

概 要：

市民が作った年賀状を展示する、参加型の
展覧会。子どもから大人まで“誰もが”気軽に
出品となる本展は、今回で17回目の開催と
なりました。

市内を中心に全国各地から届いた413点の
作品を、当館スタッフとサポートスタッフとの
協働で展示しました。

会場では作品のほか、年賀状や正月文化に
関連したパネル解説も行い、双六遊びなど
の、正月文化を紹介しました。

出品者から「毎年の開催を楽しみにしてい
る」というコメントや、鑑賞者からは「来年
は出品したい、年賀状を描きたくなった」な
ど声があり、展覧会に多くの人があたたか
い気持ちを寄せてくれたことを感じました。



① 展覧会チラシ表面 / ②③ 展示風景

■ 企画展

アトリアで、春

会 期：3月9日(土)～3月24日(日)

観覧料：無料

概要：

「春」をテーマにした地域ゆかりの作家による展覧会。川口市所蔵作品と、地域ゆかりの作家による絵画、蒔絵や染め、書、現代根付、造形作品、現代美術など幅広いジャンルの作品を紹介し、アートを通して心地よい春の空気を感じられる展覧会となりました。

特に伝統工芸の分野は、全国的にその担い手が減る中で、川口市内に貴重な高い技術を持つ伝統工芸師がいることを多くの人に知ってもらうことができました。

また、純粋なアートの表現者として社会福祉法人みぬま福祉会 工房集の作家たちを紹介し、つくること、生きること、アートの繋がりを考えてもらう機会となりました。

出品作家：

- ・阿部 美幸(絵画)
- ・五十嵐 久(織)
- ・市川 嘉泉(書)
- ・市川 裕司(インスタレーション)
- ・大倉 史子(絵画)
- ・橘田 佳男(陶芸)
- ・倉田 拓哉(スタンドグラス)
- ・齋藤 美洲(根付)
- ・高谷 こずえ(絵画)
- ・豊平 江都(漆芸)
- ・豊平 翠香(漆芸)
- ・成宮 咲来(立体造形)
- ・西 耕三郎(染め)
- ・塗師 祥一郎(絵画)
- ・林 直登(スタンドグラス)
- ・横山 明子(絵画)
- ・吉田 有紀(インスタレーション)



①展覧会チラシ表面/②③④アトリア展示風景/⑤旧田中家住宅展示風景
撮影：島村美紀

■ 講座・ワークショップ

みんなで大きな絵を描こう！

日時：4月22日(土) 11:00～15:00

参加費：500円

参加者：3歳から小学6年生

(未就学児は保護者同伴) 33人

講師：玉掛由美子

(アートワークセラピスト)

1970年生まれ。武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒。デザイン事務所に勤務後、フリーのグラフィックデザイナーとして活動。

NPO法人子ども未来研究所事務局長

(～'22)。∞工房主宰。

概要：

8メートル四方の布に、アートセラピーの手法を用いながら、絵の具で絵を描くワークショップを開催。参加者は汚れてもいい服装で裸足になって参加。自由に色を混ぜたり、筆やローラーを大胆に動かしたり、手足や身体全体を使って制作しました。

講師は、参加者にのびのびと制作することを促し、参加者は自分だけではなく他者の動きを感じとり、それが他者との違いや共通点について考えることに繋がりました。

混色によって思わぬ表現が生まれると、参加者の緊張がほどけた様子が見られました。

完成した作品は、4月23日から30日まで、スタジオの天井に吊るし、成果作品として展示しました。



①②ワークショップの様子 / ③成果作品展示風景

ATLIA ART SCHOOL

キャンバスにアクリル画を描く

(技法・テクスチャーを学ぶ)

日時：①5月19日(金) ②5月20日(土)

各回10:00～15:30

参加費：1,500円

参加者：大人・小学生4年生

①25人②22人

講師：渡辺依理（油画）

東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻卒業
(2002)。

「VOCA展2008」（上野の森美術館）などへの
出品のほか、個展も開催している。

概要：

アクリル絵の具を使用して、F6号キャンバスに「波」をテーマに制作する本格的な実技講座。参加者は、アクリル画の制作に使われる、メディウムやモデリングペーストを使ったり、厚塗りの特性を学んだりして、波の立体感や凹凸を表現できるようになりました。

感想では、「波と砂浜の質感を分けるために、隆起した表現技法を学ぶことにより、制作の幅が広がった」などとコメントがありました。

独特な絵肌の質感・制作の新たな視点は、参加者の想像力を刺激しました。



①②③ワークショップの様子

■ 講座・ワークショップ

手でふれてみる世界

日 時：6月17日(土)

13:00～15:00

参加費：無料

参加者：42名（未就学児は保護者同伴）

講 師：岡野晃子

（映画『手でふれてみる世界』監督）

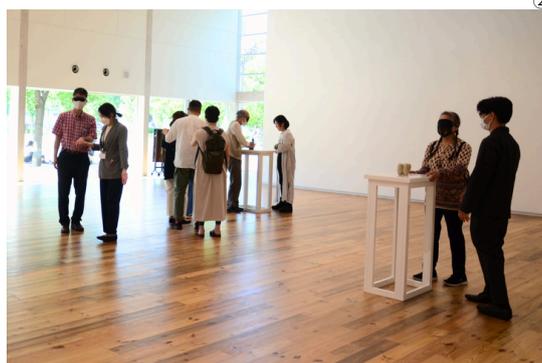
1973年生まれ。バンク・ストリート教育大学博物館教育研究科修士課程修了、コロンビア大学大学院美術及び美術教育研究科修士課程修了。ヴァンジ彫刻庭園美術館にて「センス・オブ・ワンダー もうひとつの庭へ」、「すべてのひとに石がひつよう 目と、手でふれる世界」など企画。視覚にとどまらない感覚による美術館教育の可能性を研究。その一環として、ドキュメンタリー映画「手でふれてみる世界」を制作。

概 要：

視覚に障がいのある夫妻が設立した国立オメロ触覚美術館(イタリア)を舞台にしたドキュメンタリー映画「手でふれてみる世界」の上映会を開催。

本作品を通して、視覚障がい者を含むすべての人に開かれた美術館の存在を鑑賞者が知ること、美術館とは子どもから大人まで、障害がある人もない人も、全ての人に開かれた場であるということなど、美術館の在り方について考えるきっかけとなりました。

また、上映後には、岡野監督によるアフタートークとワークショップを行いました。参加者はアイマスクを装着して、彫刻作品に触れ、手の感覚から想像して彫刻作品の形を素描しました。



①②③④ワークショップの様子

■ 講座・ワークショップ

コラージュでつくる森の動物王国

日 時：①7月30日(日)

②8月3日(木)

③8月10日(木)

各回10:15～15:30

参加費：1,000円(1名)

参加者：小学1年生から(親子参加可)

①26人 ②27人③27人 計80人

講 師：奥村拓郎 (彫刻家)

1983年生まれ。東北芸術工科大学彫刻コース卒業。東北芸術工科大学大学院芸術文化専攻彫刻領域修了。現在 川口市のスタジオで制作活動を行う。各地での個展・グループ展のほか、アートを通じた教育活動を実施。

概 要：

コラージュ技法を用いて動物を制作するワークショップを開催。スタジオの壁面いっばいにあらかじめ森を作り、完成した動物は、この森に展示しました。

午前中には、スキージーなどの道具を使い、スパッタリングなどの表現や、アクリル絵の具で様々なマチエール（絵肌）を理解しながら、オリジナルの色紙を制作。

午後は、コラージュ技法を用いてその色紙を組み合わせ、動物を完成させました。参加者が制作した約80点の動物作品は、成果展示会として8月16日まで展示しました。



①ワークショップチラシ表面/②③ワークショップの様子/④成果作品展示風景

■ 講座・ワークショップ

人とデザインのはなし

日 時：9月2日(土)

13:30～15:30

参加費：1,000円（学生無料）

参加者：22人

講 師：長崎綱雄

（プロダクトデザイナー・

NAOTO FUKASAWA DESIGN取締役

多摩美術大学教授）

1970年東京都生まれ。

川口市立朝日東小学校、元郷中学校卒業。

早稲田大学 教育学部 卒業（1993）

武蔵野美術大学 造形学部卒業（1995）

クリエイティブユニットBRANCH主宰(2018)

NAOTO FUKASAWA DESIGN取締役就任（2020）

多摩美術大学美術学部統合デザイン学科教授（2021）

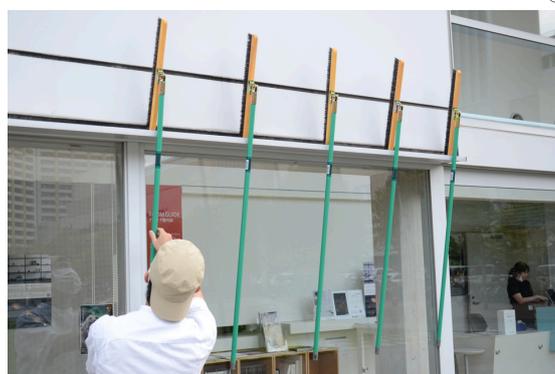
概 要：

「人とデザインのはなし」展に関連した講座を開催。前半には講師による「性質の彫刻」の意図や、アフォーダンスについての講演。後半はホワイエやデッキで、ビー玉や自在ホーキを使用して性質の彫刻をつくるワークショップを行いました。

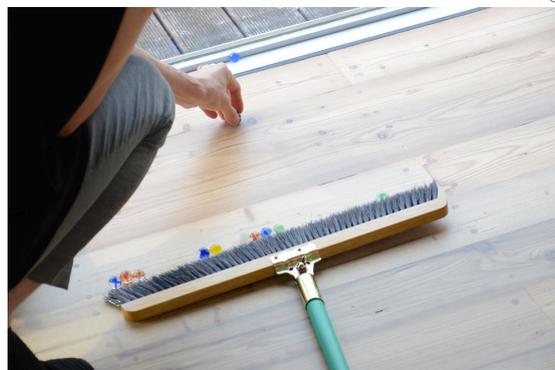
参加者からは「既成概念に縛られている自分を発見した」「見える世界が変わり、物に対して興味がわき面白みを感じた」と、デザインへの興味を喚起させる講座となりました。



①



②



③



④

①講座チラシ表面 / ②③④ワークショップの様子

■ 講座・ワークショップ

美術講座「日本の伝統工芸と染色」

日 時： ①9月16日(土)

②9月23日(土)

各回10:00～14:00

参加費：中高生2,000円、大人3,000円

参加者：①14人②14人 計28人

講 師：西 耕三郎（染め師）

1934生まれ。現役の染め師。幼少の頃より、江戸型染の職人の父、荻田繁蔵に染めを習う。川口の地で独立して間もなく70年。独自の手法“糊纈”(こけち)染めを考案するなど、独自の感性と伝統の染め技法を今に伝える。

概 要：

江戸型染の染め師として川口市で長年活躍する西耕三郎さんから染め技法を学び、スカーフサイズの布を染める講座。前半は染めの実技を行い、後半は染めの技法について、スライドを用いた講義を開催しました。

日本の独特な色に関する話や、講師の制作経験談なども交えながら進行され、西さんが開発した独自の染め手法“糊纈”(こけち)染めの紹介もありました。

川口市に所縁のある講師との制作体験で、より一層、染め文化を身近に感じたと参加者から感想がありました。

手間と時間を掛けて染めること。伝統を大切にしながら、かつ試行錯誤を繰り返し新しい表現を模索する西さんの制作にかける思いが垣間見える講座でした。



①



②



③

①②③講座の様子

■ 講座・ワークショップ

写真史家に学ぶ！アート作品と撮影のコツ

日 時：9月17日(日)

13:00～17:00

参加費：2,000円

参加者：9人（15歳以上）

講 師：打林 俊（写真史家、写真評論家）

1984年東京生まれ。パリ第1大学招待研究生を経て、日本大学大学院芸術学研究科博士後期課程修了 博士(芸術学)、日本学術振興会特別研究員(PD)

概 要：

アート作品の撮影の基本について学ぶ講座を開催しました。前半は、仏像写真など日本の美術品がどのように写真として残されてきたかについて学ぶ、写真の歴史に関する講義。後半は、川口駅周辺に設置されているアート作品（篠原勝之作「SAILING TREE」、富田匠美作「働く歓び」、建畠覚造作「WAVING FIGURE」）を、グループに分かれて一人一台のカメラで撮影しました。

撮影終了後は、講師から参加者の作品について一つ一つ講評をしてもらいました。

「同じ被写体でも構図の切り取り方が違い、その切り取り方によって全く違う印象を持つ写真になった。それらがアート作品を撮影する際の魅力に繋がるポイントである」等と話がありました。

スマートフォンの普及により、誰もが手軽に撮影ができるようになりましたが、カメラ撮影の魅力を深掘したり、身近なアート作品の魅力を見出す機会となりました。



①



②



③

①②ワークショップの様子 / ③講評の様子

■ 講座・ワークショップ

美術講座「静物デッサン」

日 時：10月12日(木)

10:00～15:00

参加費：3,500円

参加者：14人(高校生以上)

講 師：岩田史朗（洋画家）

1956年川口市生まれ。高校卒業後渡英し美術を学ぶ。慶應義塾中等部で美術教諭を勤めた後、本格的に作家活動を再開し今日に至る。ケンブリッジ州立美術工芸大学美術基礎課程卒業。

グロスター州立美術大学芸術学科卒業。

バイアム・ショウ美術学校ポスト・ディプロマ課程修了。

概 要：

デッサンの基礎を通じて「ものの見方」と油彩画の歴史について学ぶ講座。前半は、木炭と鉛筆を用いて画用紙にワインボトルと果物を描くデッサンの実技。後半はパワーポイントのスライド資料を用いて油彩画の道具と歴史についての講義を行いました。

参加者から「画家が使っている木炭は柳でできているなど、絵を描いている方でないと知らない知識を知れてよかった」とコメントがあり、デッサンや油彩画に関心がある方や、今後も美術を学びたい人たちの視野が広がる講座でした。

講師の絵画作品にも興味を持つ参加者が、積極的に質問する場面もあり、市内作家の活動を知る、交流に繋がりました。



①



②



③

①②講座の様子 / ③講義風景

■ 講座・ワークショップ

盆栽体験講座「苔玉どろだんご作り」

日 時：11月14日(火)

13:00～15:00

参加費：1,000円

参加者：16人(小学3年生以上)

講 師：針谷冬美（はちす葉）

2016年川口市赤山にて「はちす葉」を立ち上げ、盆栽の新しい表現に挑戦している。

『『時空』Hyogen × BONSAI (旧田中家住宅 / 川口市)』で盆栽展示でのプロデュースを手掛ける。以降、四季折々の彩りある緑の癒しを通じて、親しみやすい盆栽を提供している。学校などでの盆栽教室、出張教室等で盆栽普及活動にも力をいれている。

概 要：

本講座は、企画展覧会「盆栽BONSAIー川口の盆栽と安行の四百年ー」に関連した、苔玉の制作を通して盆栽の制作過程を体験する講座として開催。

講師が準備した「苔玉どろだんごキット」を使い、「植え替え」や「苔はり」を体験。屋外で開催する講座は今年度では初めての試みとなりました。

参加者からは「また盆栽講座があれば習いたい、参加したい」「普段できない体験ができた」などのコメントがあり、盆栽が市民へ身近な形で広まった様子が伺えました。



①



②

①②講座の様子

■ 講座・ワークショップ

透明水彩で「木々」を描く

— 水彩技法を学ぶ —

日 時：①12月21日(木)

②12月22日(金)

13:00～16:30

参加費：2,000円

参加者：①20人②23人 計43人(15歳以上)

講 師：村山之都（画家）

1969年北海道旭川市生まれ。武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業 研究室賞（2001）

武蔵野美術大学大学院油絵コース修了(2003)

ホルベインスカラシッパ奨学生(2013)

NHK連続テレビ小説「なつぞら」絵画制作担当(2019)

現在 東京工芸大学非常勤講師、川口市在住

概 要：

透明水彩絵の具の使い方と技法を教わりながら、木々をテーマに描く講座。講師の作品も展示し、水彩画に初めて触れる参加者にもゴールがイメージがしやすい講座となりました。

F4号サイズの絵を仕上げる過程で、遠近感のある表現方法や、マスキングテープを使用した、「白抜き」の制作方法などを学びました。

講師からは、技法の修練だけではなく「作品の良さ・ものの見方・感性」について、丁寧に向き合い個々の制作に活かすことについて話がありました。

水彩画の解説資料や道具の説明が充実していたので、参加者は理解しやすく、今後も水彩画制作を行いたいという声がありました。



①講座チラシ表面 / ②③④講座の様子

年賀状展関連ワークショップ

<辰の冒険すごろく>

日 時：1月14日(日)

① 10:15～12:00(制作+遊び)

② 13:00～15:00(遊び)

参加費：500円

参加者：①9人(中学生以下)②43人

概要：

2024年の干支である「辰」をモチーフとした、すごろくのワークショップを開催。

アトリアのサポートスタッフと講師が、2023年8月から企画、会場作り、開催まで、協働で作りあげました。

壁面には、紙で作った十二支を展示し、お正月文化を感覚的に体験できる空間を演出。床と正面の壁には、二匹の龍の体のすごろくが広がりました。

ワークショップの冒頭では、サポートスタッフと講師が考えた「二匹の龍の物語」を話しました。参加者は、物語を参考にしながら、ところどころ空いているマスに書く“ミッション”を考え、2つのグループに分かれて遊びました。スタートからゴールまでは、30枚ほどのマスを、大きなサイコロを振って進んでいきます。

ゲームの最後には、全員がゴールすると完成する龍の玉のパズルを組み立てるなど、楽しい仕掛けが待ち受けており、参加者に喜んでもらいました。

午後は会場を開放し、43名の親子が遊びました。サポートスタッフが講師と共に、発案や運営をすることで、お手伝いとどまらない、メンバーの個性を活かした、主体的な活動となりました。

講師：玉掛由美子

(アートワークセラピスト)

1970年生まれ。

武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒。デザイン事務所に勤務後、フリーのグラフィックデザイナーとして活動。

NPO法人子ども未来研究所事務局長(～'22)。∞工房主宰。



①



②



③

①②③ワークショップの様子

■ 地域・学校連携（共催）事業

第18回川口市美術家協会選抜展

会期：6月21日(水)～7月2日(日)

主催：川口市美術家協会



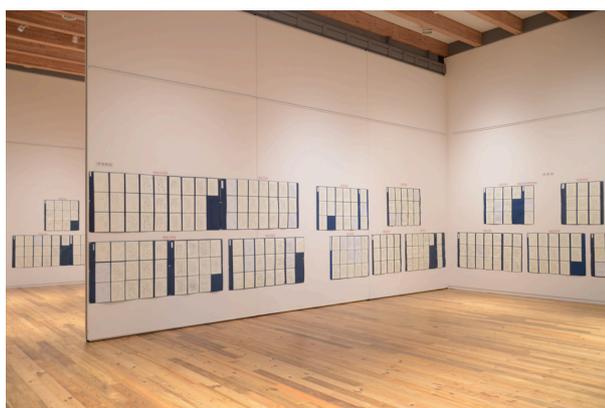
概要：

川口市美術家協会の各部門から選抜された会員の秀作展です。日本画11点、洋画34点、彫刻10点、工芸13点、書22点、写真11点(合計101点)の展示を行いました。

川口市小・中・高校硬筆展覧会

会期：7月5日(水)～9日(日)

主催：川口市教育研究会 書写研究部



概要：

市内の小・中・高校の児童生徒の書写・書道教育の振興をはかるために毎年開催。各校の優秀作品並びに県展覧会出展・入賞作品を一堂に展示しました。

令和5年度（第31回）水道ポスターコンクール展示会

会期：9月6日(水)～9月10日(日)

主催：川口市上下水道局



概要：

小学4年生を対象に、水道への理解と学習の機会をひろげるために毎年開催。今年は「水道水 安心・安全これらも」のローガンがテーマ。入賞・佳作の61点を展示しました。

第56回川口市特別支援学級合同作品展

会期：12月6日(水)～12月10日(日)

主催：川口市教育委員会



概要：

市内小学校36校567名、中学校17校228名、総勢795名による特別支援学級の児童生徒が制作した絵画や手芸など1,215点の作品を展示しました。

■ 地域・学校連携（共催）事業

川口の美術家たちのアートな毎日

会期：1月17日(水)～1月21日(日)

主催：川口市美術家協会



概要：

川口市美術家協会の中から選出された新作や代表作が一同に会する展覧会です。川口の鋳物を素材とした作品や、伝統工芸の漆芸作品など26名の作家による55作品を展示しました。

中学生の ART CLUB 作品展

会期：1月27日(土)～2月4日(日)

主催：川口市教育委員会



概要：

市内中学校18校の美術部およびそれに類似する部活動の生徒374名の発表展示。絵画やポスター、イラストなどの平面作品や、ボックスアートなどの立体作品を展示しました。

川口市小・中・高校書きぞめ展覧会

会期：2月8日(木)～12日(月祝)

主催：川口市教育研究会 書写研究部



概要：

川口市内小・中・高校の児童生徒の書写・書道教育の振興を図るために毎年開催。市内小学校52校、中学校27校、高校7校の書きぞめ1,139点を展示しました。各校の優秀作品ならびに県展覧会出展・入選作品を一堂に展示しました。

川口の図工美術まなび展

会期：2月17日(土)～25日(日)

主催：川口市教育委員会



概要：

「郷土を描く美術展」と題したコーナーや、知事賞や市長賞に選ばれた各受賞作品89点が並び、図工や美術の授業内容の紹介（パネル展示やプロジェクターのスライドショー）と、その授業を通じた生徒作品を展示しました。

アトリア・サポートスタッフ (ボランティア登録制度)

年間を通して多くの事業を開催する当ギャラリーでは、それを支えてくださるボランティアの方々が活動しています。ワークショップや講座の参加者に寄り添い一緒に活動に参加したり、スタッフとミーティングを重ねながらイベントの発案・準備制作・実施運営を担ったりなど、お手伝いにとどまらない主体的な活動を目指しています。登録は4～5月に行い、活動期間を1年としています（更新可／中学生以上）。幅広い年齢層・職業の方がアートを通じて交流し、様々な体験と時間を共有しています。

主な活動内容

ワークショップや講座の運営サポート

ワークショップでは参加者に寄り添いながらそれぞれの楽しみを見つけるサポートを行います。技術や知識は重要ではありません。自身も楽しみながら参加をすることで感動を発見し、満足感につながる時間・空間の共有を目指します。

また実技講座等では、参加者に積極的に声をかけて実現したい表現を引き出すなど、交流を大切にしながら制作のためのサポートを行います。

展覧会やワークショップ成果物展示に関わるサポート

「コラージュでつくる森の動物王国」などの会場作り、「アートな年賀状展」など市民から集まった年賀状をパネルへ貼り付けする作業や設営。ワークショップの発案や制作などをアトリアスタッフと共に行います。

定例会

およそ月に1回のペースで、活動の内容や方針について話し合う場を設けています。スタッフとやりとりをしながら、気づきを共有し利用者の目線に立ったより良い施設運営へとつなげます。自分の興味や特技を生かして活動しているメンバーが寄り集まり、意見交換と提案をする機会です。

令和5年度登録者数

22人（令和6年3月時点）



各種研修・実習などへの協力

市内中学生の社会体験事業「川口の元気 夢わ〜く」など、職場体験学習や、学生の研究に協力しています。

社会体験事業「川口の元気 夢わ〜く」

会 期：12月12日(火)～13日(水)

10:00～16:00

学 校：川口市立幸並中学校

参加者：1年生3名

概要：

川口市立幸並中学校1年生3名の生徒が、2日間の職場体験をしました。それぞれが体験前に目標を定め、アトリアが果たす役割と目的、機能を知るとともに社会的なルールやマナーなども併せて学びました。

主な内容は館内見学（オリエンテーション）、バックヤード見学、学芸業務、監視業務、広報、貸しギャラリーの展示見学などです。

アトリア開館以来から続く市民参加型展覧会「アートな年賀状展2024」で集まった年賀状の仕分け、パネルへの貼り付け準備や、年賀状展に関連したワークショップイベントのPOPの案を考えました。

中学生の視点による、手に取りやすい広報物の配列の検討。SNSなどデジタルを活用した情報発信の方法について考えるなど、中学生自身が考えながら活動する体験事業となりました。



①



②



③

①②③ 職場体験の様子

貸しギャラリー事業

市民をはじめとした一般の方々にアート活動や作品発表の場としてご利用いただくため、館内の展示室およびスタジオをお貸出ししています。本年度は展覧会などで16件ご利用いただきました。

※展覧会の一覧はP.29をご参照ください。

展示空間について

■展示室 Exhibition Space

どなたでも気軽に立ち寄れる企画展示や市民のアート作品発表の場です。ゆったりとした空間（天井高5m）で作品発表や鑑賞を楽しむことができます。可動壁により2室に分けられ、小品から大型作品まで様々な展示が可能です。

■スタジオ Studio

ワークショップや講座など様々な美術活動を行う場所です。屋外との一体感があるこの空間は創作活動の幅を大きくひろげます。

■ホワイエ / ウッドデッキ

Foyer / Wood Deck

アートパークの景観を楽しみながら休憩できる場所です。また、ウッドデッキはワークショップなどの活動の場にもなります。

フロアマップ

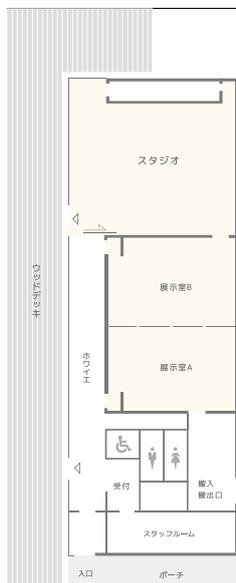
展示室A	77.5㎡／壁面の長さ 計29.1m
展示室B	77.5㎡／壁面の長さ 計29.1m
スタジオ	195㎡／壁面の長さ 計21.2m
ピクチャーレールの高さ	展示室3.5m、その他4.8m

利用料金

	市内在住・在勤・在学	左記以外
展示室A	10,470円	15,700円
展示室B	10,470円	15,700円
スタジオ	20,900円	31,400円

※料金は1日あたり

※貸出は展示室は1週間ごと、スタジオは1日ごと



利用申込

申込は空きがある場合、利用期日の1年前から募集を受付しています。

専用の「貸しギャラリー申込書」に必要事項を記入のうえ当ギャラリーへ持参してください。郵送・FAXでも受付しています。

申込書は、当ギャラリーの受付で配布するほか公式ホームページからダウンロードできます。



令和5年度 実施事業件数・利用者数一覧 企画展 / 共催展・連携事業

事業名（企画展）	タイトル	開催日数（日）	鑑賞者数（人）
	広場とつながる彫刻展 太田隆幸展	12	3,124
	アートのツール・マテリアル展	16	735
	人とデザインのはなし「性質の彫刻」展by BRANCH	12	326
	川口市制施行90周年旧田中家住宅100周年記念展覧会 盆栽 BONSAI-川口の盆栽と安行の四百年-	21	1,369
	アートな年賀状展2024	7	1,197
	アトリアで、春	14	2,256
	小計	82	9,007
	事業名（共催展・連携事業）	タイトル	開催日数
第18回川口市美術家協会選抜展		11	1,121
川口市小・中・高校硬筆展覧会		5	6,576
令和5年度（第31回）水道ポスターコンクール展示会		5	242
第56回川口市特別支援学級合同作品展		5	2,015
川口の美術家たちのアートな毎日		5	528
中学生のART CLUB作品展		8	1,148
川口市小・中・高校生書きぞめ展覧会		5	5,126
川口の図工美術まなび展		8	887
小計		52	17,643
合計		134	26,650

事業分野	件数	開催日数（日）	参加者数（人）
ワークショップ	5	7	174
実技講座	2	4	42
企画展関連	5	8	162
合計	12	19	378

令和5年度 実施事業件数・利用者数一覧 貸しギャラリー利用

展覧会名	展示室区分	利用日数（日）	鑑賞者数（人）
瀧山正夫展	展示室A	6	235
花とアートの展覧会 10th anniversary	展示室A	5	170
上青木公民館陶芸クラブ30周年記念陶芸展	スタジオ	2	355
スクランブル交差展 vol.2	展示室A	2	58
ラッキーワイド造形の世界2023	スタジオ	6	611
緑と文化の創造展	展示室AB	5	455
川口星野富弘花の詩画展	展示室AB、スタジオ	5	969
第3回デジタルペインティング「夢」作品展	展示室A	5	242
写真展 埼玉で暮らすクルド人	展示室B	4	495
Catウールアート猫展&黄色い猫ととらの写真展	スタジオ	6	661
川口市小学生図画コンクール入賞作品展	展示室AB	2	411
幸並中学校創立70周年記念作品展	スタジオ	3	987
創造アトリエ おおきな木作品展	展示室A	2	650
小学生「身近な生き物」絵画コンクール	展示室AB	5	2,468
川口まちこうば芸術祭2024	展示室AB、スタジオ	4	2,166
計		62	10,933

年間開館日数	利用者（来館者）	月平均
308日	46,322人	3,860人

令和5年度 ATLIA NEWS for TEENS

概要：

主に10代の方に向けてアートを身近に感じてもらう目的で、年3回（7月、10月、2月頃）
 展覧会やイベントの最新情報のお知らせや、
 作家インタビューの特集記事、終了したイベントの報告や年間スケジュールなどを掲載している広報誌です。

仕様：A4、カラー、見開き4P

グラフィックデザイン：

株式会社21世紀文化芸術研究室



ATLIA NEWS for TEENS 創刊号
 作家インタビュー：
 宇田川格、設楽俊、吉住裕美



ATLIA NEWS for TEENS 第2号
 作家インタビュー：長崎綱雄



ATLIA NEWS for TEENS 第3号
 作家インタビュー：市川裕司

盆栽 BONSAI

-川口の盆栽と安行の四百年-パンフレット

概要：

川口市施行90周年・旧田中家住宅100周年記念展覧会「盆栽 BONSAI-川口の盆栽と安行の四百年-」の展覧会パンフレットです。

第一会場アトリア、第二会場旧田中家住宅の展示風景を、展示替えした作品をすべて掲載しています。

仕様：21×21cm、カラー、58ページ

定価：1,000円

グラフィックデザイン：

古谷悠子 (YUMO graph.)

発行年月：2023年12月



発行物

アトリアで、春

概要：

「アトリアで、春」の展覧会パンフレットです。

多様な表現をする作家たちの“春”をテーマにした作品を展示しました。

四部からなる展示風景と、解説、作家の略歴を掲載しています。

同時期に旧田中家住宅において展示した、市川裕司の作品も掲載しています



仕様：21×21cm、カラー、30ページ

定価：1,000円

グラフィックデザイン：

古谷悠子 (YUMO graph.)

発行年月：2024年9月



令和5年度 事業年報 (アニュアルレポート)

概要：

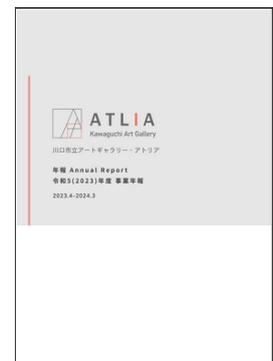
事業を総括した年次報告書。企画展をはじめ、ワークショップ・講座、関連イベントも収録。担当所感をまとめ、開催時の様子を記録写真とともに紹介しています。

仕様：A4、カラー、32ページ

グラフィックデザイン：

株式会社21世紀文化芸術研究室

発行年月：2025年3月



利用案内 / スタッフ

- 開館時間 10:00～18:00
(入館は閉館の30分前まで)
※企画展中は開館時間を延長する場合がございます。
- 観覧料 企画展によって異なります。
- 休館日 月曜日
※祝日の場合はその翌平日
年未年始(12月29日～1月3日)
施設整備および展示入替期間
- アクセス JR川口駅(京浜東北線)
東口から徒歩約8分



川口市立アートギャラリー・アトリア
Annual Report 2023.4 - 2024.3
令和5(2023)年度 事業年報

発行日 令和7(2025)年3月
発行 川口市立アートギャラリー・アトリア©2023
332-0033 埼玉県川口市並木元町1-76
TEL 048-253-0222
FAX 048-240-0525
URL <http://www.atlia.jp/>
編集/印刷/製本
株式会社21世紀文化芸術研究室

スタッフ

※2023年度中在籍

岡村春香 (館長)
岡村睦美 (アートディレクター)
高田純嗣 (アートディレクター)
溝口亜紗 (学芸員)
吉田ひとみ (学芸員)
武井智子 (学芸員)
宮澤和気 (学芸員)

お問い合わせ先

施設名：川口市立アートギャラリー・アトリア

所在地：〒332-0033 埼玉県川口市並木元町1-76

TEL : 048-253-0222

FAX : 048-240-0525

Mail : info@atlia.jp

Web : <https://atlia.jp/>

指定管理事業者

(株)21世紀文化芸術研究室グループ



ATLIA
Kawaguchi Art Gallery